

※1: DC3100はUSB1.0で接続可能です。※2: 日本ビオオプテックス社製。H2640はEthernet/NetまたはIEEE1394付本体のみ接続可能です。※3: 収録、表示可能な情報は時刻、緯度、経度、方位、速度、高度、受信衛星数、衛星位置です。※4: バイオオモードでの動作となります。収録可能な情報は時刻、緯度、経度、方位、速度、高度、受信衛星数、傾斜率です。※5: 収録、表示可能な情報は時刻、緯度、高度、方位、速度、高度、受信衛星数、傾斜率です。※6: DL2800で10μsステップの収録を行う場合の接続台数はMAX4台が目安です。RA2300など9台以上接続する場合はご相談ください。※7: 接続可能な台数はカメラに付属しているドライバの性能に依存します。※8: 本体の制約およびパソコンのCPU速度などにより、設定速度で転送できない場合があります。※9: TS/TH/Hシリーズでは、赤外画像も表示可能です。RA1000シリーズ、及びAR1000シリーズではリアルタイム表示はできません。※10: 各種の機器が混在する場合、最高収録速度は1msになります。※11: 最大1200chまで接続可能です。

CPU	2GHz以上推奨
メモリ	512MB以上（可視カメラ、赤外カメラ使用時、vista使用時は1024MB以上推奨）
HD 空き容量	プログラム領域約10MB必要 その他にデータ格納領域が必要 収録データファイルの再大容量はHD空き容量の約1/2を目安にしてください。
USB ポート	USB2.0
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上
OS	Windows2000（SP4以上）／WindowsXP（SP2以上） WindowsVista（Business,Ultimate）／Windows7 32ビットのみ（Ultimate,Professional,Home Premium）

※オンラインでの使用時は、NS3000 + NS31-779 + NS31-770、NS3000 + NS31-769 + NS31-760 の組み合わせとなります。

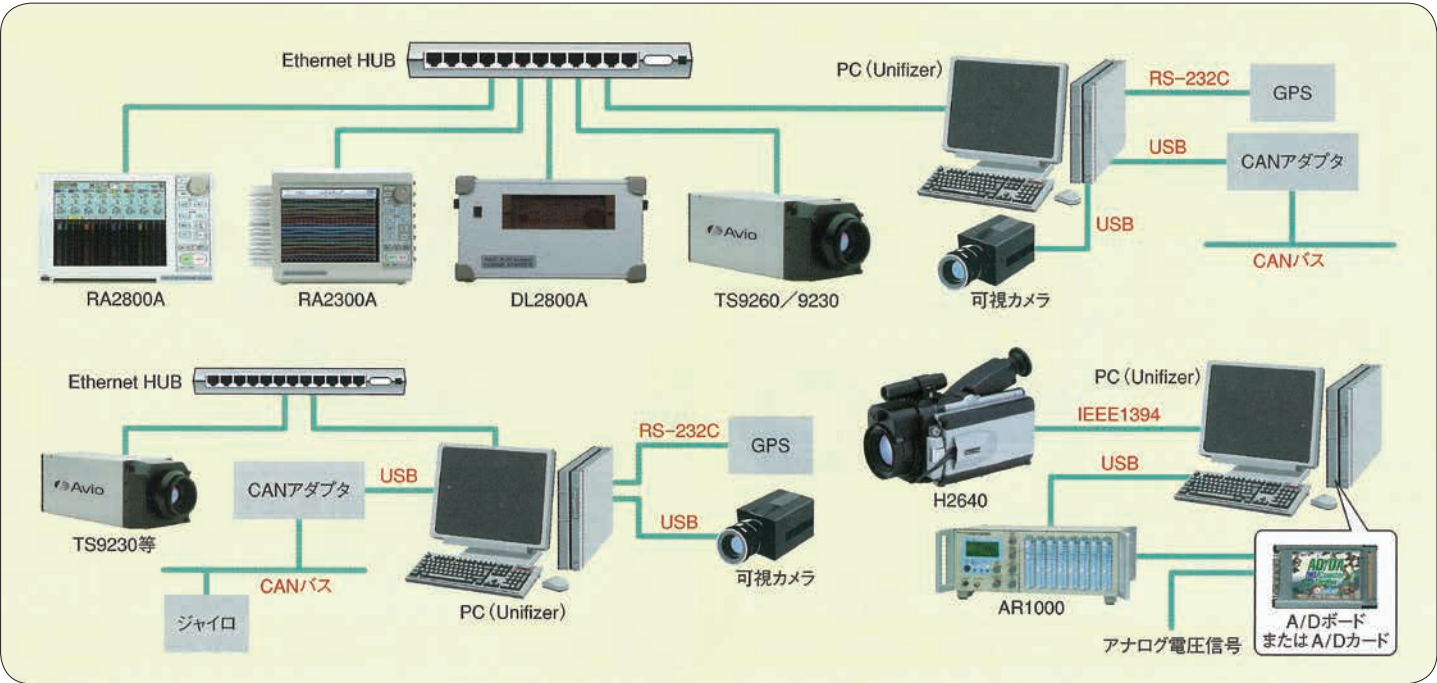
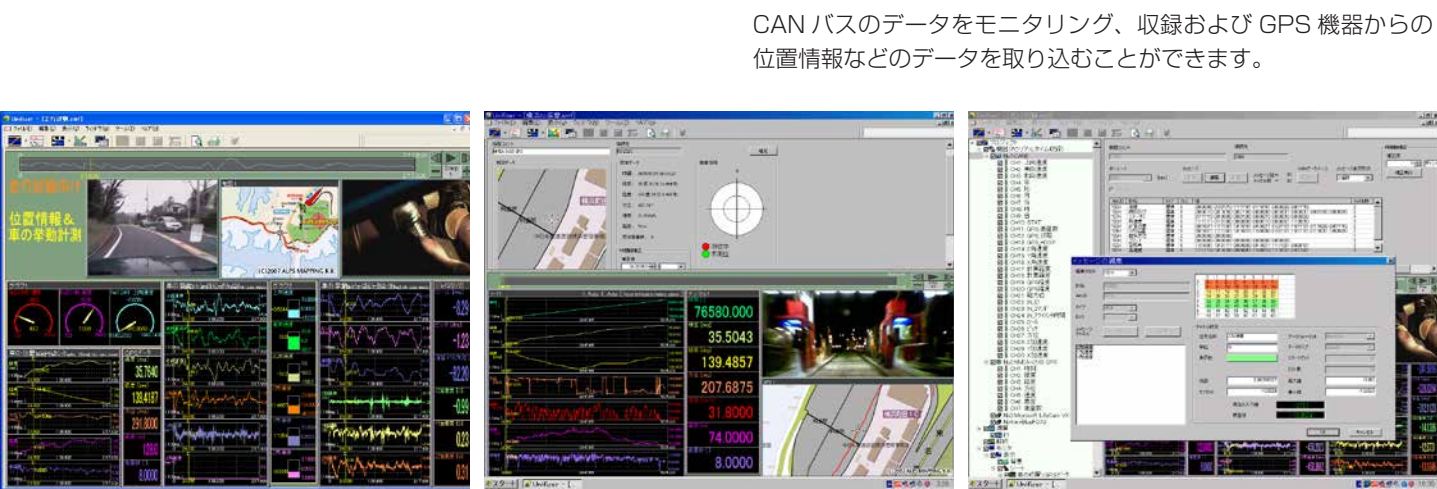
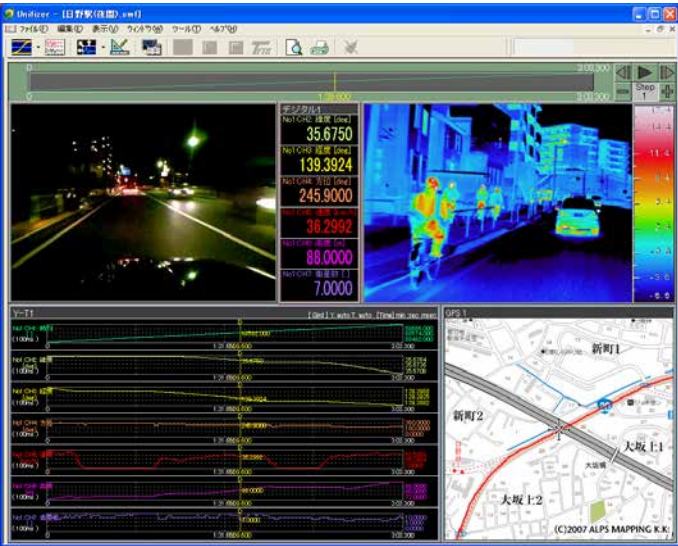
[illegible]

五十四、做错了事，要勇于承认，并想办法补救。

●本カタログの内容は **2015年7月** 現在のものです。  
NS3000-AVIOJC-01-AA1-15604



ユニファイザ NS3000 シリーズは、当社計測器(データアクイジション装置・アンプ)を Ethernet 環境などで接続し、機器の設定・データ収録のリモートコントロール、演算・解析処理が行えます。

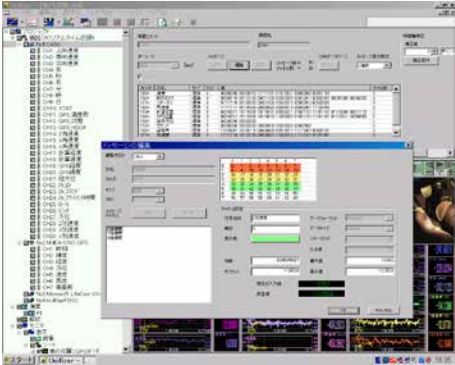


ユニファイザ NS3000 シリーズの接続構成図

## ■ 概 要

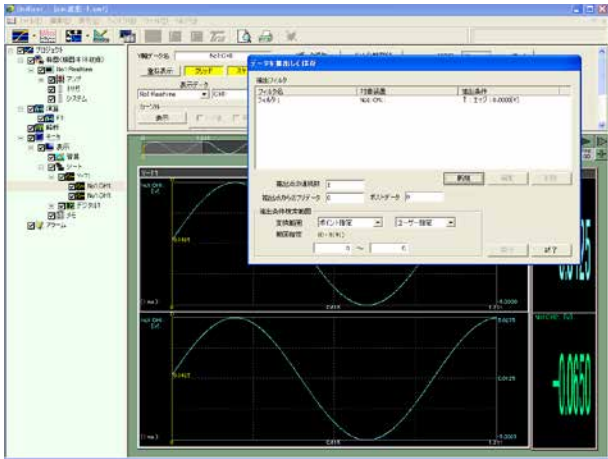
### CAN データの収録

CAN アダプタ (USB/PCI/PCMCIA) により CAN バスのデータを収録することができます。  
CAN に関する以下の機能があります。  
① CAN 2.0A/2.0B (標準/拡張フォーマット) ISO 11898-2 準拠  
② メッセージの追加・削除・編集  
③ CAN データベース (\* .dbc, \* .ndc) 読み込み



### データ抽出機能

収録後のデータを抽出条件に従って必要な部分のファイルを抜き出すことが可能です。



### Google Earth 対応

GPS の緯度、経度データを Google Earth 用ファイル (kml) に変換可能です。

ユニファイザでGPSデータを取得

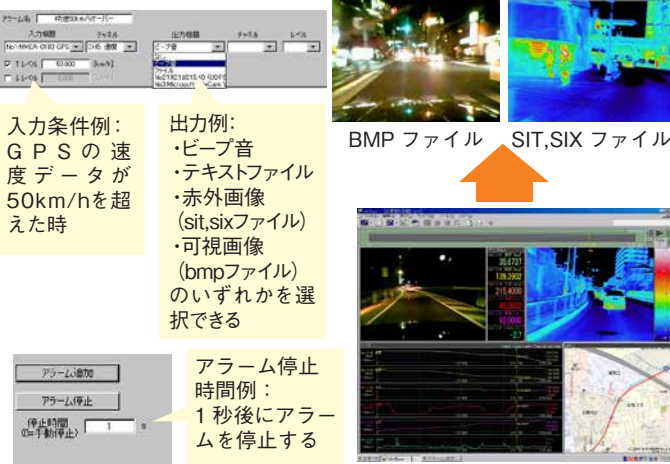


変換したファイルを Google Earth で表示



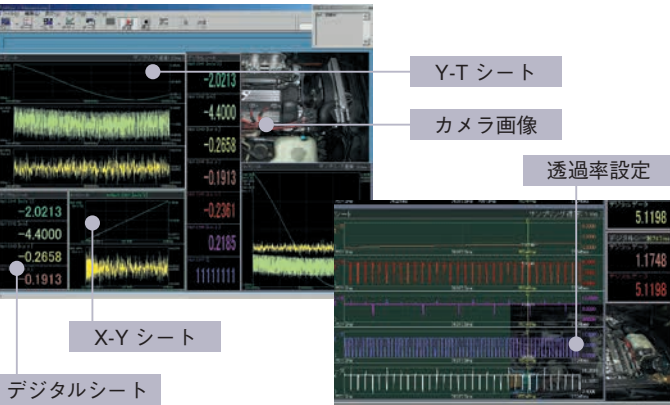
### アラーム機能

入力 CH 信号に対してアラーム条件を設定できます。アラーム発生時にピープ音を鳴らす、画像 BMP ファイル (可視カメラ接続時) を作成する、熱画像ファイル (SIT,SIX 形式、赤外カメラ接続時) を作成するなどができます。



### カスタム画面構成

表示エリアには、Y-T シート、X-Y シート、デジタルシートおよびカメラ画像を自由にレイアウトすることが可能です。また、各シートは透過率を設定することができます。

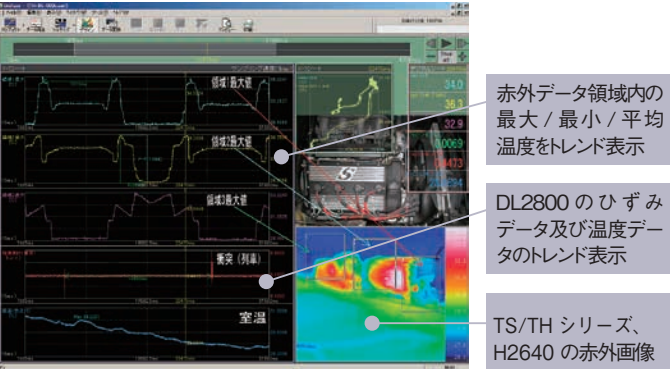


透過率設定: シートが重なっていた場合、上に重なるシートを透過させることにより、背景にあるシートが見える様になります。

### 赤外線熱画像装置 (R300/TS/THシリーズ、H2640) との接続

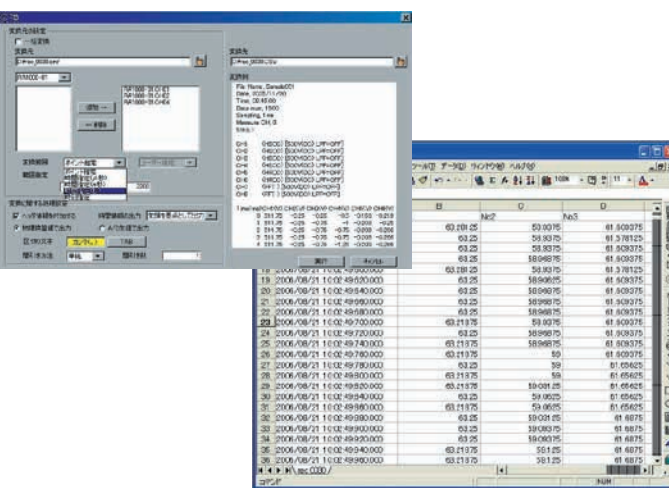
赤外線画像の領域指定を行うと、その領域内の最大 / 最小 / 平均温度がトレンドデータとして扱えます。トレンドデータは Y-T / X-Y / デジタルシートに表示できます。(日本アビオニクス社 製)

Ethernet 回線を経由して赤外線熱画像装置とデータアクイジション装置およびアンプを同時制御可能



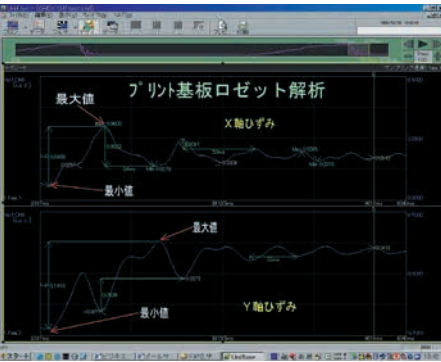
### データ変換機能

収録したデータを CSV ファイルに変換することができます。変換する範囲を、サンプリングポイント指定、時刻指定やカーソル間指定で行うことが可能です。



### レポート作成機能

研究・開発の現場では、測定された信号波形から数値を読み取り、実験・研究の重要データを導き出しますが、ユニファイザでは、グラフ上に表示されたデータの任意の位置に“カーソル AB 間の時間差”、“カーソル AB 間のデータ差”、“カーソル AB 間の最大値・最小値”、“カーソル読み値”を表示できます。このシートを印刷することによりそのまま実験レポートとして活用できます。



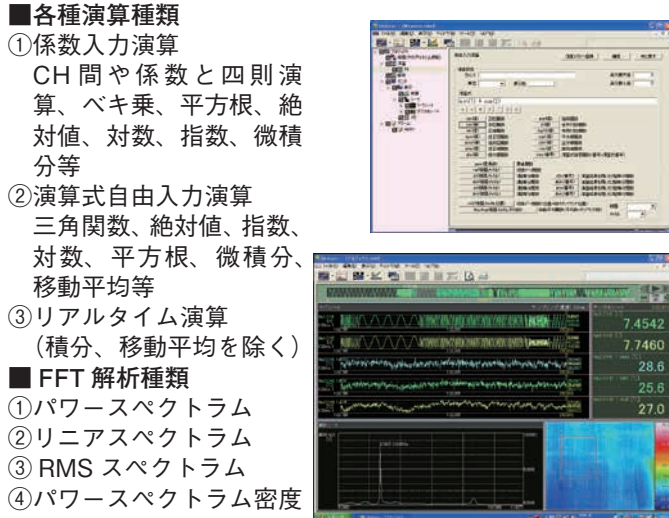
### GPS データの収録

NMEA-0183 準拠の GPS 機器からの GPS データの収録が可能です。地図ソフト (アルプス社製プロアトラス SV シリーズ) をインストールすることでリアルタイムに地図上で位置を表示することができます。



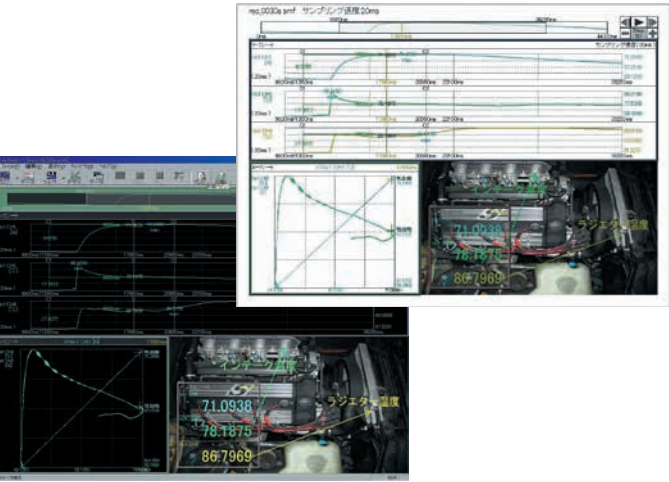
### 各種演算 & FFT 解析

リアルタイム収録時および収録後のデータに対して四則演算や各種関数演算および FFT 解析が行えます。



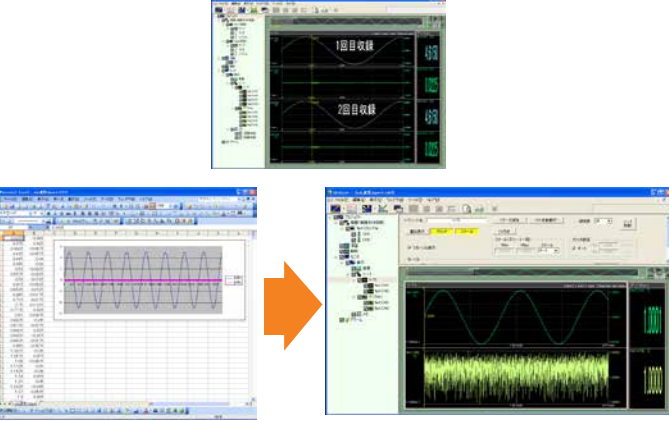
### 簡単プリント機能

表示画面のイメージがそのままレポートとして印刷できます。Y-T シート、X-Y シート及びデジタルシートの背景は白色で印刷されます。



### インポート機能

2 台以上のレコーダで別々に収録した 2 つ以上のファイルを後から結合することができます。また、同一条件で収録した複数のデータファイルの後から 1 つのファイル結合することで過去と現在の信号比較を同一グラフ上で行うことが可能です。CSV 型式のファイルも読み込むことが可能です。



ユニファイザ NS3000 シリーズのインポート機能